

長野県木曾青峰高等学校 令和元年度第1回学校評議員会 記録

日時 令和元年7月19日(金) 午後3時30分から午後5時00分

場所 木曾青峰高等学校同窓会館

出席者 学校評議員 同窓会長・同窓会副会長・PTA会長・木曾養護学校長・前木曾町中学校長
木曾福島地区区長会長

学校職員 校長・全日制教頭・定時制教頭・全日制教務主任・定時制教務主任
進路指導主事・生徒支援主任・1学年主任・2学年主任・3学年主任
理数科主任・森林環境科主任・インテリア科主任

1 開会

2 学校長挨拶

3 学校からの報告

4 学校評議員からの質問・意見・要望等

(評議員) 郡内生徒数減少のため、女子寮の建設など郡外からの生徒を受け入れる態勢を整える必要がある。

あいさつがしっかりとできる生徒がたくさんいる。デュアルシステムについて考えていきたい。

■「未来の学校」研究校のテーマとなっている。

(評議員) 少人数クラスに分けて授業をするとき、クラスの分け方はどのように決めているのか。

■学力検査や考査の成績によって分けている。

(評議員) 就業体験はどのようにしているのか。生徒の就職の決め手は何か。

■郡内にて、夏休みを利用して行っている。

■4者面談や希望就職先に卒業生がいること。

(評議員) 持続可能な産業教育を行ってもらいたい。修学旅行は学年の意向によって行先を変えられるのか。

■学年の意向によって行先を変えることはできる。

(評議員) 現在は教員の配当数が多く、生徒に手厚く指導できるようだが、入学者数が減少しクラス数が減少すれば教員の配当数も減るのではないか。

■クラス数が減少すれば、教員の配当数は減るので、入学者数減少に歯止めをかけて増加にできるように努力したい。

(評議員) 授業参観させてもらったが、教員と生徒の関係が非常に良い授業であった。国際的な視野をもって木曾の産業をよくしてもらいたい。

5 その他

6 閉会